

## 事前評価個表

整理番号	16
------	----

地域（地区）名	<small>ごう かわ</small> 江の川下流	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	島根県	対象市町村	<small>ごうつし</small> 江津市ほか5市町
事業実施期間	R7年度～R11年度（5年間）	事業実施主体	市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は島根県の中西部に位置し、<small>おおだし かわもとまち みさとちょう おおなんちょう はまだし ごうつし</small>大田市、川本町、美郷町、邑南町、浜田市、江津市の3市3町で構成されている。北東部は斐伊川森林計画区に、南東部は広島県に、南西部は高津川森林計画区に接し、北西部は日本海に面し、本計画区の総土地面積は220千haである。</p> <p>本地区の森林面積181千ha（森林率82.2%）のうち、計画の対象となる民有林面積は170千haであり、そのうち人工林は59千ha（人工林率35%）、天然林は105千ha、竹林その他が6千haとなっている。</p> <p>本地区の木材生産量は、木材加工施設の基盤整備や高性能林業機械の導入・事業体間の連携等により増加傾向にあり、スギ人工林を中心として順次利用期を迎えている森林資源を有効に活用するため、再生林により確実な森林再生を図ることが必要となっている。</p> <p>一方で、木材単価の低下や森林所有者の高齢化により手入れの進まない森林が増加し、森林の有する公益的機能の維持増進に支障が出るのが懸念されており、除間伐等の森林整備が必要な状況となっている。</p> <p>このため、本事業では、水源涵養や土砂流出防止等の森林の有する公益的機能を発揮させるため、江の川地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、施業の効率化を図りつつ、再生林や保育、間伐等の森林整備を実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,875 ha</p> <p style="text-align: center;">人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>総事業費：1,479,643千円（税抜き1,345,130千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=6.32</p> <p>（総便益（B）=14,823,509千円、総費用（C）=2,345,872千円）</p>
評価結果	<p><b>必要性：</b> 間伐等の森林整備を通じて森林の有する水源涵養等の公益的機能の発揮や、森林資源の有効活用による木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p><b>効率性：</b> 施業の集約化や高性能機械の導入など森林施業の効率化を進めており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p><b>有効性：</b> 地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する多面的機能の発揮が期待できることから、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事

都道府県名： 島根県

業地域(地区)名： 江の川下流

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,481,742	
	流域貯水便益	909,047	
	水質浄化便益	3,712,994	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,282,295	
環境保全便益	炭素固定便益	893,034	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,544,397	
総 便 益 (B)		14,823,509	
総 費 用 (C)		2,345,872	
費用便益比	$B \div C =$	$\frac{14,823,509}{2,345,872} = 6.32$	

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C =$	$\frac{23,177,262}{2,941,307} = 7.88$	
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C =$	$\frac{30,115,344}{3,400,151} = 8.86$	

# 島根県（江の川下流地域）森林整備位置図

